

平成31（令和元、2019）年度 文部科学省科学研究費 採択者一覧（研究代表者）

| 研究種目 | 学部 | 研究代表者名 職名 | 研究課題名 |
|--------------|-----------|---------------------------------------|--|
| 基盤研究 (B) | 社会福祉 | 水川 喜文 教授 | ダイバーシティにおけるワークプレイス研究—多様性の中で、共に働くこと |
| 基盤研究 (C) | 文 | 松浦 年男 准教授 | 天草諸方言の形態音韻現象に関する基礎的研究—方言類型論の構築を目指して |
| | 経済 | 星野 宏司 教授 | 身体運動能力と口腔機能の可塑性に関する研究 |
| | 経済 | 浦野 真理子 教授 | インドネシアのアブラヤシ農園開発における自発的土地取引と貧困解決 |
| | 社会福祉 | 田中 耕一郎 教授 | 重度知的障害者に対する「ケアの分配」をめぐる規範的研究 |
| | 社会福祉 | 永井 順子 教授 | 北海道における精神保健ソーシャルワークの歴史記録と教育コンテンツの構築 |
| | 社会福祉 | 杉岡 直人 教授 | 生活支援サービスにおける有償ボランティア活動の公民連携に関する研究 |
| | 社会福祉 | 宮崎 靖士 教授 | 柳田国男の表現構造がもつ現代的意義の発掘—言語観・文章構成・同時代状況への関与— |
| | 文 | 蓑内 豊 教授 | 指導者と選手をつなぐ指導システムの構築：心理的アプローチに基づくスキル修正の活用 |
| | 文 | 中地 美枝 准教授 | 社会主義人口論と家族計画運動をめぐる世界史：1974年の世界人口会議を中心に |
| | 社会福祉 | 中田 知生 准教授 | 過疎地域における集落支援のコミュニティ・ガバナンスと資源の変化：方法論を中心に |
| | 社会福祉 | 中村 和彦 教授 | 人のレジリエンスを促進するコミュニティ要因の実証研究—国際地域比較調査を通して— |
| 社会福祉 | 眞嶋 良全 准教授 | 偽ニュース：誰が信じ、広めるのか？ | |
| 経済 | 佐藤 友暁 教授 | ウェーブパイプライン化ASIC-FPGA協調設計による機械学習IPSの開発 | |
| 挑戦的研究 (萌芽) | 経済 | 竹田 恒規 専任講師 | 津波被災地における高台移転事業の実証的研究：行政法学および民法学の観点から |
| 若手研究 (B) | 経済 | 野原 克仁 准教授 | 旅行者の意思決定構造と混雑を考慮した観光便益の推計 |
| 若手研究 | 社会福祉 | 松岡 是伸 准教授 | 現代日本における生活困窮対策のスティグマと抵抗の実態に関する調査研究 |
| | 経済 | 多鹿 智哉 専任講師 | 大人数による多数決の効率性に対する批判的検討 |
| | 文 | 永井 暁行 助教 | ピアサポート活動への参加による学生の発達過程—1年間の縦断調査による検討— |
| 研究活動スタート支援 | 文 | 寺林 暁良 専任講師 | 岩木川河川敷における環境ガバナンスのダイナミズムに関する研究 |
| 大学 代表者 計 20件 | | | |

| | | | |
|--------------|----|----------|---|
| 基盤研究 (C) | 短大 | 竹村 雅史 教授 | 多読と自己決定理論の関係性を探る—スマホ・アプリによる多読読書記録手帳の構築— |
| | 短大 | 藤原 里佐 教授 | 知的障害者とその家族の高齢期—「地域生活」の多義性と入所施設をめぐる研究 |
| 短大部 代表者 計 2件 | | | |

大学・短大部 合計 22件

【期間延長】

| | | | |
|----------|------|-----------|--|
| 基盤研究 (C) | 経済 | 中田 知生 准教授 | 過疎地域における住民自治組織の公共サービス提供プロセスに関する研究 |
| 基盤研究 (C) | 社会福祉 | 佐藤 友暁 教授 | 自己修復機能による高速・低消費電力設計対応IPSプロセッサ開発と標的型攻撃の防御 |

平成31（令和元、2019）年度 文部科学省科学研究費 採択者一覧（研究分担者）

| 研究種目 | 学部 | 研究代表者名 職名 | 研究課題名 |
|-------------|----------|-----------------|---|
| 基盤研究 (A) | 文 | 松 浦 年 男 准教授 | 消滅危機方言のプロソディーに関する実証的・理論的研究と音声データベースの構築 |
| | 社会 福祉 | 大 友 秀 治 准教授 | 子どもの課題スクリーニングから支援・効果まで循環するシステム構築 |
| 基盤研究 (B) | 文 | 松 浦 年 男 准教授 | 比較言語学的方法による日本語・琉球諸語方言の祖語の再建および系統樹の構築 |
| | 経済 | 長 屋 幸 世 教授 | 民事紛争処理手続きにおける情報の利用と保護の両立 |
| | 社会 福祉 | 田 中 耕 一 郎 教授 | 病者障害者運動史研究——生の現在までを辿り未来を構想する |
| | 社会 福祉 | 眞 嶋 良 全 准教授 | 疑似科学に関する議論を媒介にした科学リテラシー教育のプラットフォーム構築の研究 |
| | 経済 | 金 子 大 輔 教授 | 教育実践研究と教授・学習支援システム研究とのマッチングプラットフォームの開発 |
| | 文 | 松 浦 年 男 准教授 | 推論過程の言語化における地域語のダイナミクスに関する研究：九州方言を中心に |
| | 社会 福祉 | 横 山 穰 教授 | 高齢多死社会日本におけるウェルビーイングとウェルディングの臨床社会学的研究 |
| 基盤研究 (C) | 経済 | 渡 邊 稔 専任講師 | 少子高齢化社会における所得格差の是正政策のあり方と経済成長 |
| | 経済 | 古 谷 次 郎 教授 | 将来を見据えた小学校プログラミング教育のコンピテンシー構築に向けて |
| | 経済 | 諸 岡 卓 真 准教授 | 事例研究と連携させた1970年代以降の日本現代ミステリ史の構築 |
| | 経済 | 楠 木 敦 専任講師 | 一般均衡理論導入史における米田庄太郎：京都大学所蔵「米田文庫」を手がかりに |
| | 社会 福祉 | 眞 嶋 良 全 准教授 | 擬人化が科学的説明文の理解課程に及ぼす影響の検討 |
| 大学分担金 計 14件 | | | |

| | | | |
|-------------|----|-------------------|--|
| 基盤研究 (A) | 短大 | 藤 原 里 佐 教授 | 子どもの貧困に関する総合的研究：貧困の世代的再生産の過程・構造の分析を通して |
| 基盤研究 (B) | 短大 | コッター マシュー 専任講師 | バーチャルエクステンジにおける英語と他文化理解向上 |
| 基盤研究 (C) | 短大 | 藤 原 里 佐 教授 | 成人期障害者におけるQOLの規定要因—親の高齢期から「親亡き後」への移行プロセス |
| | 短大 | 風 戸 真 理 専任講師 | モンゴル高原地域における生業生産物の商品化に関する比較研究 |
| 短大部分担金 計 4件 | | | |

| | | | |
|-----------------|--|--|--|
| 科研費 研究分担者 計 18件 | | | |
|-----------------|--|--|--|

【期間延長】

| | | | |
|-------------|----------|---------------|----------------------------------|
| 基盤研究 (C) | 社会 福祉 | 水 川 喜 文 教授 | 初等・中等教育における「自然（現象）の科学的理解」の相互行為分析 |
|-------------|----------|---------------|----------------------------------|